

Windows®98/Windows®Me/WindowsNT®4.0/Windows®2000/Windows®XP

Rapidシリーズ 土木用高性能低価格 CAD

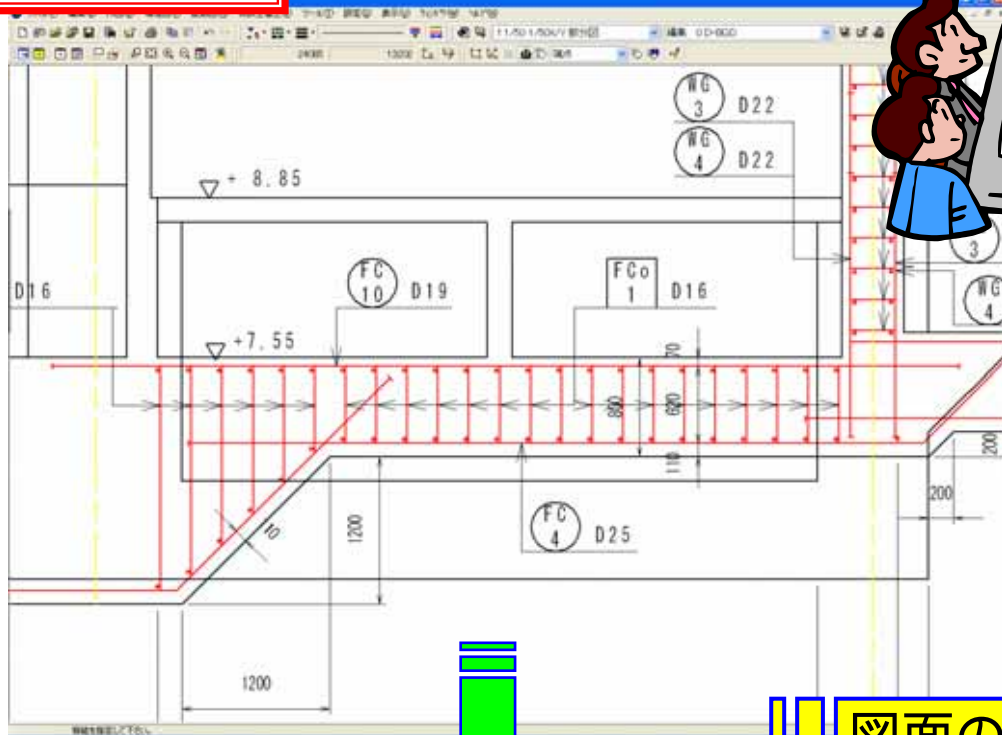
RapidDraw ver5.0, RapidDrawPlus ver5.0



RapidDraw Ver5.0、RapidDrawPlus Ver5.0はRapidDraw2003から、さらに進化・機能アップした新バージョンです。もちろんCADデータ交換フォーマット『SXF』に対応し、SXF仕様の準拠性を検定する「OCF検定」の「p21」「sfc」にも『制限事項無し』合格しています。また、CALS/ECにおける電子納品にも柔軟に対応でき、土木用CADとしての優れた機能が更にパワーアップして搭載されています。

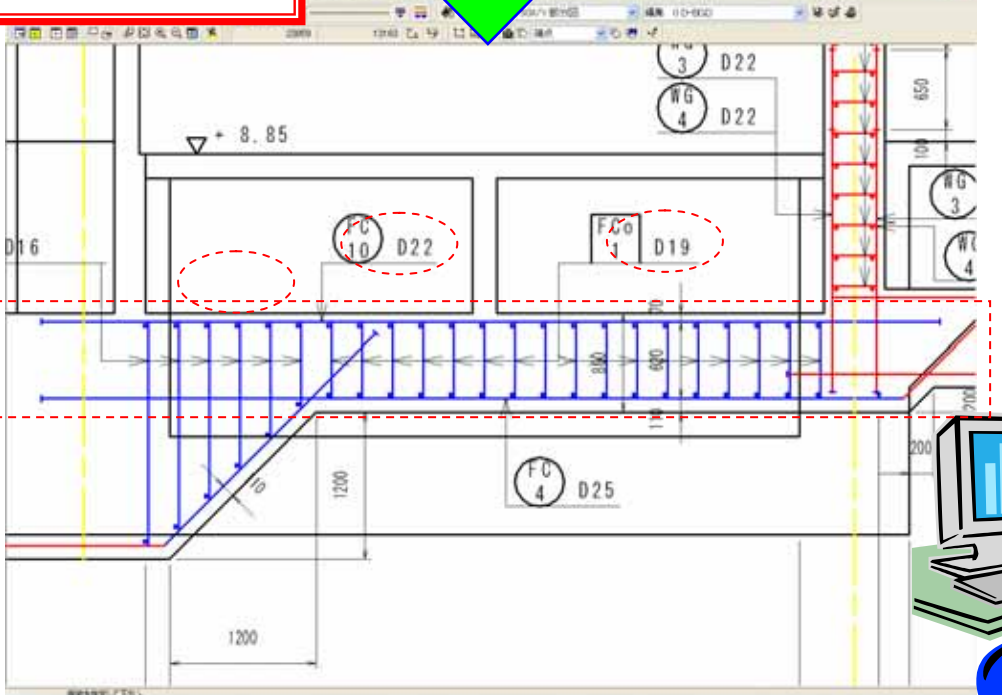
図面の比較 注目の新機能!

修正前図面



電子納品の図面ファイル形式(SXF)での比較が可能です。

修正後図面



指示通りの修正が出来たけど、間違っていないか？チェックをしなければ

図面の比較

修正箇所を図面と一覧により表示

RapidDrawでは、元図面と修正図面を指定するだけで修正内容が簡単に確認する事が出来ます

図面比較コマンドでは、2つの図面や、編集時の図面と元図面などの面倒な差分比較が可能に。『手軽に全自動で』『論理的に差分を導出』『漏れなく違いを確認』が実現します。

標高を削除

鉄筋径を修正

鉄筋径を修正

鉄筋の色彩を変更

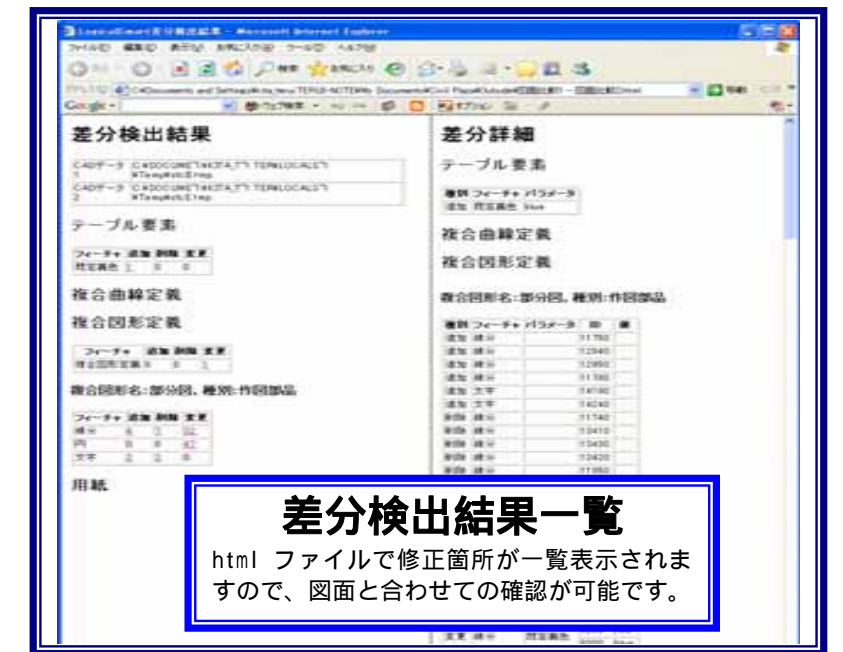
鉄筋を延長修正

差分の可視化

修正箇所が設定した「線種」「線色」「線厚」で表示されます。この差分を表示した図面はsfcファイルで登録されていますので、出力することも可能です。

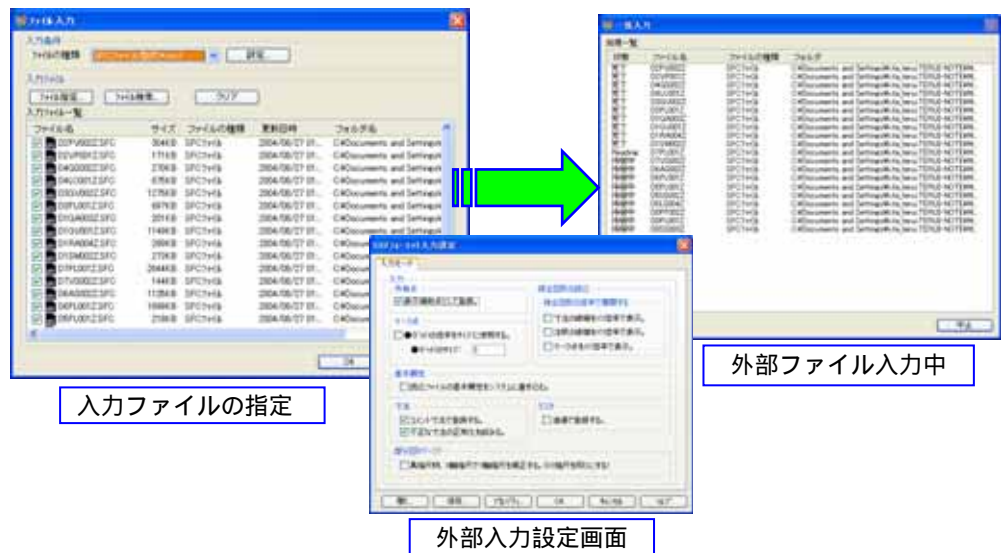
差分検出結果一覧

htmlファイルで修正箇所が一覧表示されますので、図面と合わせての確認が可能です。



外部ファイルの一括入力

「sfc、p21、dxf、dwg、jwc、fig」形式の指定した、複数の図面データを一括で入力が可能になりました。



入力ファイルの指定

外部ファイル入力中

外部入力設定画面

製図基準日本語レイヤ名変更

現在作業している図面の日本語レイヤ名を変更することが可能で、製図基準から登録してあるテンプレートとの比較照査をすることも可能です。

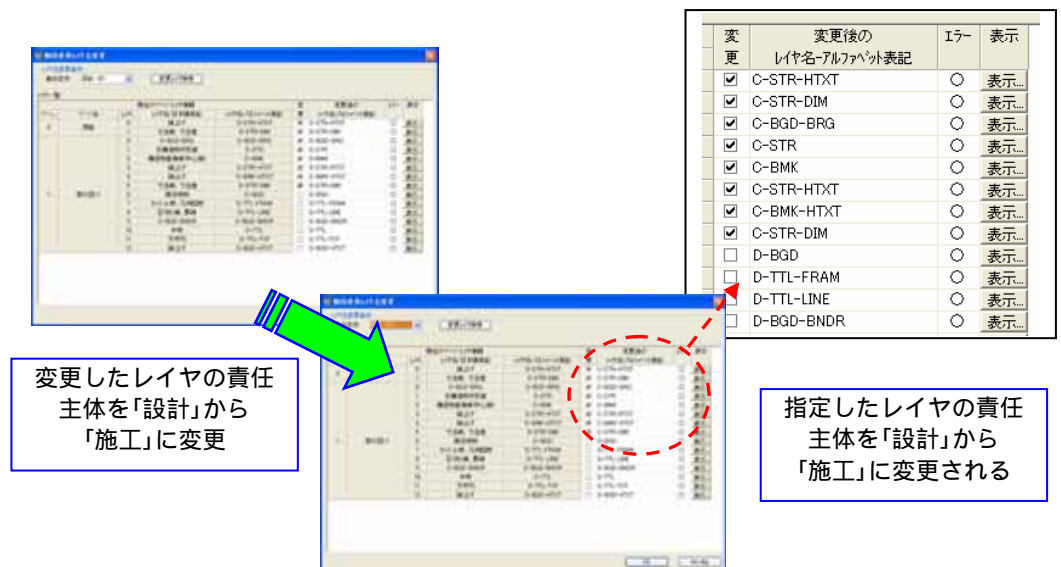


比較するCAD製図基準案を指定

比較照査結果

製図基準レイヤ名変更

現在作業している図面の変更されたレイヤのみ、責任主体名を変更することが可能です。

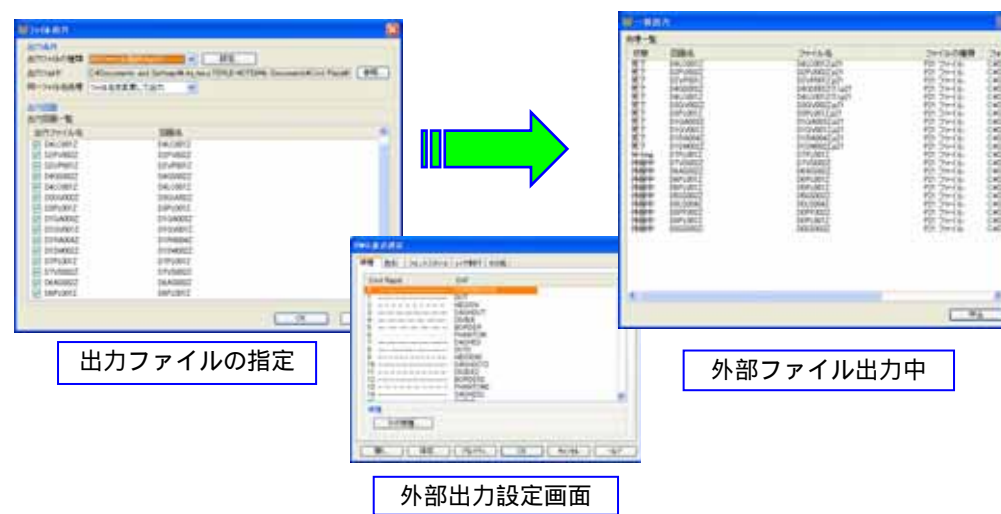


変更したレイヤの責任主体を「設計」から「施工」に変更

指定したレイヤの責任主体を「設計」から「施工」に変更される

外部ファイルの一括出力

作業中の複数の図面を「sfc、p21、dxf、dwg」形式の指定したファイル形式で一括で外部出力が可能になりました。



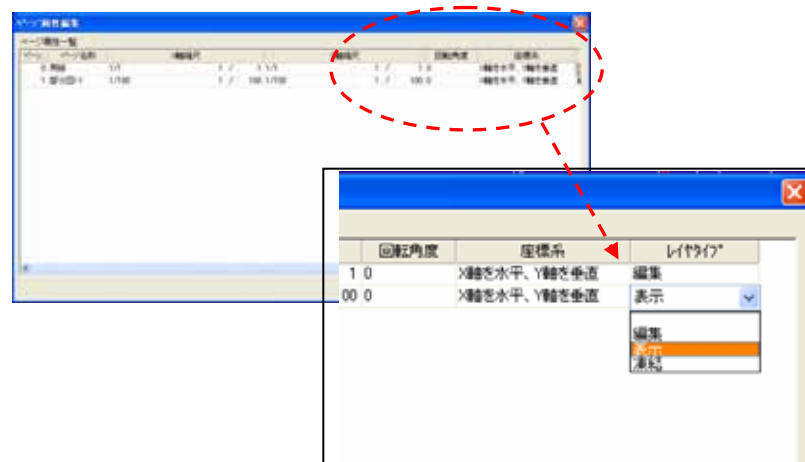
出力ファイルの指定

外部ファイル出力中

外部出力設定画面

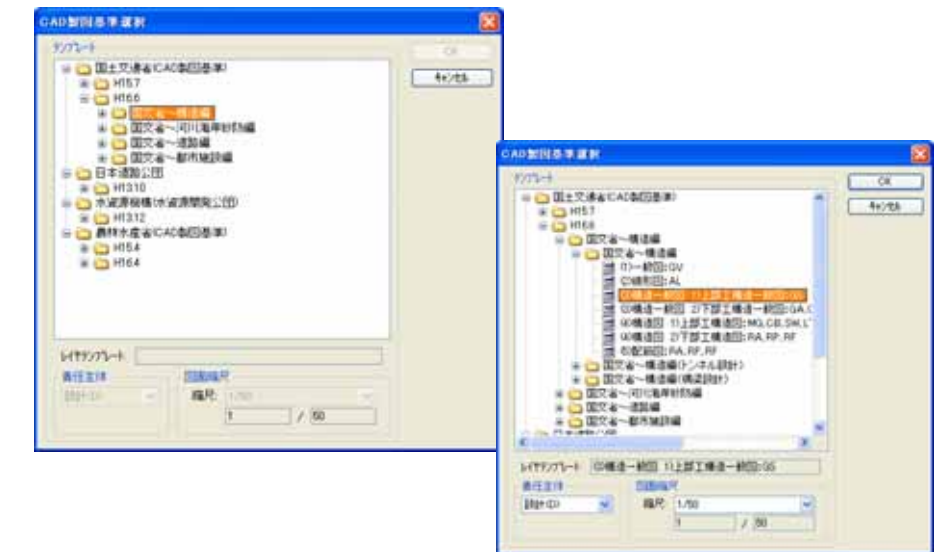
ページ属性編集コマンド

ページ属性編集コマンドにより、ページ単位での「編集」「表示」「凍結」の設定が可能になりました。



CAD製図基準(案)レイヤテンプレート

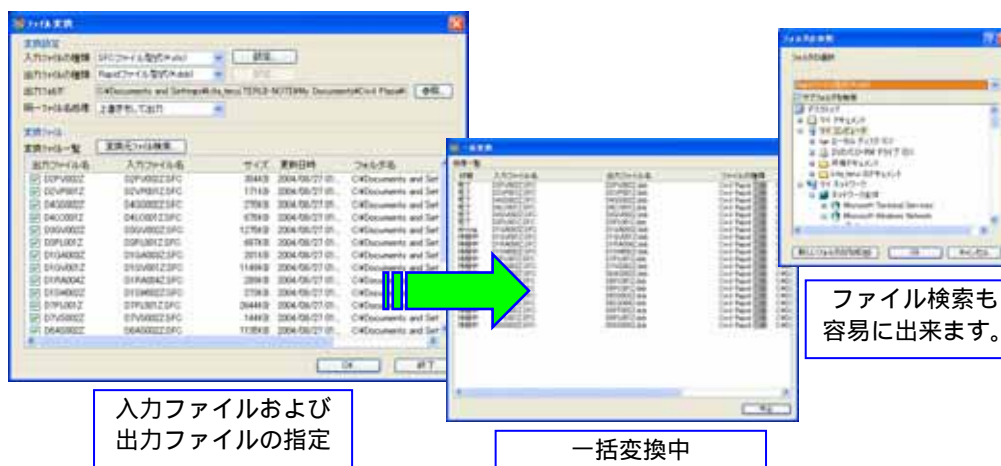
国交省 CAD製図基準(案)平成16年6月版に新たに対応するなど、益々便利になりました。



ファイル一括変換

指定したファイル形式の図面データファイルを、他のファイル形式の図面データファイルに一括変換可能になりました。

- ・dob形式のファイルをsfc、p21、dxf、dwg形式のファイルに変換。
- ・sfc形式のファイルをdob、p21形式のファイルに変換。
- ・p21形式のファイルをdob、sfc形式のファイルに変換。
- ・dxf、dwg、jwc、fig形式のファイルをdob形式のファイルに変換。



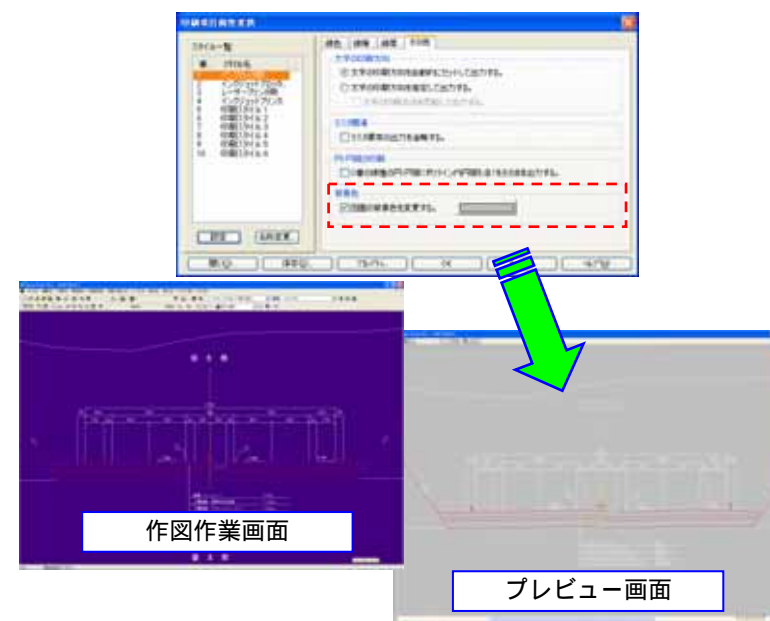
入力ファイルおよび出力ファイルの指定

一括変換中

ファイル検索も容易に出来ます。

印刷プレビューの背景色

印刷プレビューの背景色が印刷スタイル毎に設定可能になりました。



作図作業画面

プレビュー画面

便利になったオペレーション



要素の点検出時の検出タイプがツールチップで表示されます。

キーボードの矢印[、、]キーを押すことで、左右上下に図面が移動表示されます。